



独立行政法人国立病院機構
 岩手病院 地域医療連携室
 TEL : 0191-25-2428
 FAX : 0191-25-2429
<https://iwate.hosp.go.jp/>
 地域医療連携室長 豎山 真規

ご挨拶

院長（地域医療連携室長）
豎山 真規



山の緑と田にはられた水に映る空の青が美しい季節になりました。私は4月に千田圭二前院長から、岩手病院院長を引き継ぎました豎山真規（たてやままき）と申します。当院は1942年結核診療所として始まり、現在は政策医療の重症心身障害、神経筋難病医療と、回復期リハビリを地域医療の柱とし、今年創立80周年を迎えることができました。皆さまからのご支援と連携へのご協力に心から御礼申し上げます。これからもご指導賜りますようお願い申し上げます。

当院を受診され、入院される患者さんは、疾患による障害とともに、しばしば家庭的、社会的、経済的問題に直面されています。高齢で独居の方もふえ、抱えている困難の解決の難しさは増してきています。より良い解決法を見出すためには、院内および病院をこえた多職種連携がかかせません。当院は病院間、医院、施設、行政機関の皆様との連携を進めてまいります。当院の地域医療連携室は院長を室長とし、3名の医療社会福祉士、地域連携係長（看護師長）を中心に活動し、外来受診・入院依頼への迅速な対応と院内の情報共有を心掛けています。また当院受診の希望の有無にかかわらず、患者さんを取りまく種々の問題についてご相談と情報提供ができますので、どうぞお気軽にご

連絡ください。

当院はMRI（1.5T）、CT（16列）の共同利用を行っており、契約医療機関として登録して利用していただくことができます。当院では検査のみをおこない、画像CDを患者さんにお渡しします。ご依頼日当日に検査が可能な場合もありますので、お気軽にご連絡ください。また当院では遠隔画像診断システムにより、外部検査機関の放射線診断医に画像読影レポートを依頼する体制をとっております。翌日当院に読影レポートが届きましたら、すみやかにご依頼の先生に発送いたしますので、読影レポートをご希望の時はお申しつけください。患者さんには不安なく検査をうけていただけるように努めますので、ご要望などありましたら、どうぞお寄せください。

2016年より岩手病院公開セミナーとして神経筋難病についての情報提供と参加された医療・介護・福祉職の皆様との交流を行って参りました。2020年春新型コロナウイルスの流行後、中止していましたが、今年Zoomを利用して再開しました。まだ試行錯誤の段階ではありますが、参加者は事前収録の講演動画を好きな時に視聴していただけること、LIVEでの会合時にご自身の職場から参加できるなど、メリットも大きいと感じています。皆様のご意見をいれながら、よりお役に立つものにしたいと存じます。新型コロナウイルスの流行が収束して、気兼ねなく人と人が会い、語りあえる日が来るまで、一步一步できることをしていきたいと思っております。

岩手病院 常勤医リスト

診療科

脳神経内科

- 院長 豎山真規（日本神経学会専門医・指導医、日本内科学会総合内科専門医）
- 医長 今野昌俊（日本神経学会専門医、日本内科学会総合内科専門医）
- 医師 小野洋也（日本神経学会専門医、日本内科学会認定内科医）

リハビリテーション科

- 副院長 齋藤桂一（日本脳神経外科学会専門医）
- 医長 宮 秀哉（日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医）

内科

- 医師 森 一也
- 医師 佐藤良太

外科

- 診療部長 平野貞夫（日本外科学会専門医、日本大腸肛門病学会専門医、産業医）

研究検査科

- 科長 木須友子（日本内科学会総合内科専門医）

歯科

- 医長 佐藤 敦（日本口腔外科学会専門医・指導医）

その他の部門

医療安全管理

- 室長 齋藤桂一（兼任）

地域医療連携

- 室長 豎山真規（兼任）

栄養サポート／褥瘡対策

- 室長 平野貞夫（兼任）

臨床研究部

- 部長 今野昌俊（兼任）

重症心身障害医療センター

- センター長 千田圭二（名誉院長）

神経筋難病医療センター

- センター長 今野昌俊（兼任）

リハビリテーションセンター

- センター長 佐藤智彦（名誉院長）

岩手病院公開セミナー再開について

新型コロナ感染拡大防止のため、「岩手病院公開セミナー」の開催を約2年間休止していました。休止している間にも、医療福祉関係の方々から「再開はいつ頃になりそうですか?」と問い合わせを頂いていました。院内で検討を行いWeb開催という形で再開する運びとなりました。Web開催での利点を生かして、『事前に動画を作成して、セミナー参加者の時間が空いているときに視聴。質疑応答をオンラインで実施』『遠方地域への参加案内』を行いました。そのため、開催に伴い以下のように開催方法が変更となりました。

- (1) 郵送にて関係各所へ開催日・内容についてご案内
- (2) メールにて参加希望の受付
- (3) 参加希望者へメールで事前録画した講義動画・ZoomのIDをお知らせ
- (4) 配信期間に動画を視聴して頂き、質問事項をメールにて受付
- (5) 公開セミナー当日に、質疑応答

(下図は2月実施セミナー)

第21回 NHO 岩手病院 公開セミナー

テーマ: パーキンソン病について
 ~療養支援のために必要な基礎知識~

演者: 国立病院機構 岩手病院

今年から公開セミナーの、実施方法が変更となりました。また今年からは、テーマを統一し各部門からの発表とさせて頂きたいと考えております。神経・筋疾患の患者さんとかかわりの中で、日常の看護・介護などでお困りのことや不安なこと等について解決できればと思っています。皆様のご参加、お待ちしております。

当日: 令和4年 2月 22日(火) 17:00~


方法: ZOOMによる質疑応答(別紙参照)

事前配信: 令和4年 2月 14日~2月 21日まで

配信場所: 当院 ホームページ内

(仮) 公開セミナーのページをクリックし、ID/パスワード入力

主催: NHO 岩手病院 神経・筋疾患医療センター



今回の参加者の中には、近隣の方々だけではなく、金ケ崎町・住田町・盛岡市・宮古市など当院からは離れた地域の方々も参加してくれました。アンケート結果も概ね好評だったため、継続して実施していこうと考えています。

〈公開セミナーのアンケート結果〉

- ・事前配信だと空いている時間に見られてとても良かった。
- ・Webでの研修のため移動時間のロスがなく参加でき、とても良かった。
- ・動画での講話があつてからの参加だったので、先生の話も分かりやすかった。
- ・事前に動画を見られるため、何度か巻き戻して確認できてよかった。
- ・初めてのWeb上での公開セミナーのため質問のタイミングを逃してしまった。
- ・事前に動画を見られる方法は、とても良かった。当日も早い時間で終了するので参加しやすかった。

今回はテーマを「筋萎縮性側索硬化症 (ALS)」を中心に、医師・看護師・リハビリスタッフ・臨床工学技士・MSWなど各スタッフが持ち回りで開催を予定しています。詳細が決まり次第ご案内致しますので、よろしくお願いたします。

また、公開セミナーの問合せについては、地域医療連携室へご連絡ください。

医療社会事業専門職 竹越 友則

